


平成25年度「GKP広報大賞」エントリーシート

エントリーする団体名の名称 愛知県 豊田市		担当者氏名、所属、連絡先【電話、Fax、E-Mail】 上下水道局 下水道建設課
代表者氏名 豊田市事業管理者 横地 清明		加地 攻 TEL:0565-34-6624 , FAX:0565-34-0226 E-Mail:g_kensetu@city.toyota.aichi.jp
(他薦の場合) 上記団体を推薦する団体の名称		担当者氏名、所属、連絡先【電話、Fax、E-Mail】
部門名 行政広報部門	事例名 水環境共働ビジョン ～地域が支える流域の水循環～	
事例の概要（適宜、写真、図、記事の画像等挿入して下さい）		
* 概要 水環境共働ビジョンは下水道事業による効果の見える化から端を発しました。「地域の水環境への取り組みが大きな流域の水循環を支える」という考え方のもと、現状を改善し、次世代へ良好な水環境を受け継ぐために、水に関わる課題について住民と認識を共有し、身近な水環境を良くするための施策や取り組みを共働により推進することを目的としている。		
* 詳細 取り組みにあたり既に水に関わる活動が活発に行われている地区を4地区抽出し、モデル地区として、さまざまな取り組みを共働で行っています。		
(Ex) 講演会 平成21年から水環境に関する講演会を開催し、地元の活動団体や児童、企業などと共働して講演を行っています。		(Ex) 水辺ふれあいマップ 平成23年からモデル地区に流れる川の散策マップを作成しています。マップを作成することで、住民が地元の川に興味を持ち下水道の効果について考えていただけるよう、作成しています。
(Ex) 川しらべ 毎年モデル地区などで、川の水質を地元の住民の方々とパックテストや五感(視覚や嗅覚など)を使って調べる検査を行っています。		
		
		
エントリー事例の特徴（下水道インフラの価値を高める上で優れていると思われる点など） 講演会や川しらべでは、地元のテレビ局などでその様子を放送していただき、ナレーションなどで下水道による地元の水環境向上についてPRを行うことにより、下水道のイメージUPをはかっています。講演会では下水道の効果について発表することで、下水道のイメージUPをはかっています。		